

第 1 1 回

東大和市社会教育委員会議 会議録

令和4年3月15日（火）

令和3年度第11回東大和市社会教育委員会議のまとめ

- 1 日 時： 令和4年3月15日（火）午前10時00分～午前11時30分
- 2 場 所： 市役所会議棟第6会議室
- 3 出席委員： 荒川進、大月孝彦、外池武嗣、森脇千春、村山和子
杉本誠一、柳澤明（8人）
欠席委員： 立川裕、中島孝（2人）
- 4 事務局： 高田課長、西田係長、石井主事（3人）
- 5 議 題： （1）提言について
（2）その他
- 6 公開・非公開： 公開
- 7 傍聴者数： 1人

○荒川議長 おはようございます。ただいまより、令和3年度第11回東大和市社会教育委員会議を開催いたします。よろしく申し上げます。議題に入る前に、傍聴許可願が提出されておりますので、ここで傍聴の許可についてお諮りいたします。本日の会議について、傍聴を許可することにご異議ございませんか。ご異議なしと認め、傍聴を許可します。

～傍聴人が入室～

○荒川議長 お手元の資料の確認をさせていただきます。事務局より申し上げます。

○石井主事 それでは、資料の確認をさせていただきます。まず、1枚目が本日の会議の「次第」でございます。資料1が、「提言原稿」です。資料2が、「東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2回理事会」です。その他、配布資料として、「社教連会報 第90号」「東大和市こうみんかんだより第255号」「とうきょうとの地域教育No145号」「東やまとの青少年第45号」「東京都における今後の青少年教育振興の在り方について」を配布しております。また、文化協会から「50周年記念誌」を配布しております。配布資料ではありませんが、第52回関東甲信越静社会教育研究大会の報告書が送付されましたので、回覧させていただきます。以上となります。

○荒川議長 ありがとうございます。それでは、次第に沿って進めたいと思います。本日も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会議時間の短縮等にご協力をお願いします。

議題（1）「提言について」

○荒川議長 議題（1）「提言について」を議題といたします。資料1について、前回の会議で修正すべき箇所がありましたので、その部分も含めて事務局で内容をもう一度確認いただきました。修正案について、どのような意図かということも連絡がありましたので、私が皆様のご意見を伺いながら、最終原稿をまとめさせていただきます。前から順次、指摘いただいたことを踏まえながら、確認していくこととします。目次3の学校教育と社会教育の充実というところに網がかかっていますが、こちらについては、社会教育と記載しなくとも、社会教育との連携と読み取ることができるのではないかと指摘がありました。社会教育を削除した場合、家庭教育、企業内教育、地域内の教育等の言葉が入る余地があります。連携する対象を明確にするため、社会教育を残すこととします。また、内容についてご意見があれば、後ほど発言してください。次に様々なサービスに網がかかっています。サービスというのは誰かからの便宜という意味合いが大きいので、もっと広い意味の恩恵が良いと思います。超高齢社会におけるという部分ですが、こうした文章は、書く方の好みもあります。文章については、行政において記載しない文章ではない限り、できるだけ書いた方を尊重して、修正しない方が良いと思います。超高齢社会において、と記載がありますが、世代を超えてつながることは全ての社会に言えることなので、元の文章に戻します。次のページにいきます。なり得ますは元の表現に戻すこととします。四角の中、総理府から内閣府に直しています。その下に記載されている社会教育は、先ほどの目次で記載することとしたため、必要です。

（1）の最後の部分のしていただくための仕組みづくりの記載は、より丁寧で良いと思います。その下に機関とあります。機関は聞きなれない言葉だと思います。ここでは機関として、警察や病院等としての意味を広くとりたいため、このまま残すこととします。次のページの表現については、不快な印象を与えかねないということですので、直した後の文章にすることとします。ここまででご意見あればお願いします。

○高田課長 今回の修正につきましては、あくまでも事務局からの提案ですので、最終的には皆さんの言葉で仕上げただけであればと思います。また、学校教育と社会教育の連携についてであります。社会教育という視点での提言となりますので、社会教育を先頭にしてはどうでしょうか。

○荒川議長 社会教育と同様に学校教育もより良くしていきたいとの意味を持たせたいので、このままでも良いかなと思います。では、次の部分です。社会教育施設の活用と充実、活用の充実については、ニュアンスとしてはどちらでも良いと思いますが、活用の充実としましょう。次の文章ですが、元の文章では、自分自身と社会も、とありました。提言書において、市民の雰囲気を出させる名文だと思います。記載内容が間違っていなければ元の文章としましょう。図書館の文章について、は、が、等は好みの問題であると思いますので、元の文章とします。10月9日時点の前に令和3年を追記しています。年号が記載されている方が良いと思います。図書館の文章の最後の部分、であると考えられます、は元に戻すこととします。提言書の内容については、全体的に中性的な表現をしていますが、全てを直していないため、様々な人が書いたという印象を受け取れます。そうしたことを大事にしたいと思います。郷土博物館についての文章は、修正前と後のどちらでも良いと思います。文章前の○を削除するのであれば、削除することとしましょう。ここまで何かありますでしょうか。今回の修正案については、事務局も書いた方に対して配慮しながら行っています。よろしいでしょうか。次の地域活動の充実に移ります。(1)の①参加状況と利用状況、これは良いと思います。ふれあいなごやかサロンと緑のボランティアの順番を入れ替えてあります。これは前回の定例会で直す部分とした事項です。○は統一して削除しましょう。茶話活動、前回では会を入れることとなりましたので、会を入れることとしましょう。3の前まで何かありましたら、お願いします。よろしいですか。では、3の学校教育と社会教育に移ります。社会教育と言えば、現行の社会教育課という名前は変更されるのでしょうか。

○高田課長 課名は生涯学習課となり、部は教育部となります。

○荒川議長 学校教育部と社会教育部がなくなるのでしょうか

○高田課長 その二つの部が統合され、教育部ということになります。

○荒川議長 分かりました。ありがとうございます。②のお茶摘み・製茶体験の後に読点をつけていたが、カギ括弧でつなげていくこととしています。これは、そのとおりで良いと思います。別表資料のホームページによるは、もともとは、H/Pと記載していました。記載されている意味が判別できれば、どちらでも良いと思います。4の前まで何かあればお願いします。よろしいですか。4コロナ禍以後の課題、コロナ禍以後への課題については、へを追記しないこととしましょう。などによるコミュニケーションの希薄化としていますが、などによる、であると記載されていることに限定されてしまうことがあります。自粛、制約、3密回避に限定せず、様々な要因があると考えられますので、元に戻しましょう。全体を通してなにかあればお願いします。

○西田係長 提案なんですが、東大和市のことを指す際、本市としていますが、最後の部分では「東大和市」としているのが、本市としてはどうでしょうか。

○荒川議長 直した方が良いですね。お願いします。

○高田課長 提言原稿の書き出しの位置等のスタイルについては、統一させていただきます。

○荒川議長 ありがとうございます。こうした校正は難しいところだと思います。私にも経験があります。そうしましたら、今回の定例会は、ある意味反省会ともなるので、一言ずつお願いします。

○村山委員 今回、郷土博物館を担当させていただきました。一つのことを自分なりに掘り下げられたのは、今まで自分の見えていないところが多く見ることができ、とても良いことであつたと実感しました。変電所のことに関しても、提言の作成に携わらせてもらってなかったら、足を運んでいたか分かりませんでした。変電所の中に入り感じた戦争の恐ろしさ、自分たちのすぐそばで戦争が起きていたことなど、こうしたことを子供たちに伝えたいと思います。自分で見て、感じたからこそ、そう考えることができました。ありがとうございました。

○森脇委員 図書館を担当させていただきました。図書館について話を聞いたり、調べたりする中で、図書館をこうすれば良いのではと思ったことを実現させていくのは、難しいと感じました。とても勉強になりました。

○外池委員 シニアというのは人生経験が多い方です。今の世の中を見ていると、コロナや虐待、戦争、自殺等が出てきており、19世紀に戻ってしまっているのではと感じることがあります。シニアの方は、過去の貴重な経験を引き継いでおり、より良い世界にしていくことを願っていますが、このような情勢で自分自身も寂しく感じます。また、コロナの動きが月ごとに変化しており、文章の記載方法など、取り組みが困難でした。

○杉本委員 この2年間、コロナの関係でスポーツイベントが全く開催できませんでした。スポーツの現場において、シニアの方と接する機会がなく、この2年間は、提言のテーマについて経験が蓄積されませんでした。もう少し記載できることがあるとは思いますが、シニアひとりひとりの実情などを把握することができずに非常に残念でした。

○柳澤委員 普段の生活で学校と接点はありませんでした。そうした中で、学校部分を担当しました。提言をまとめるに当たり、9小だけ実地調査に訪れましたが、全校に調査に行ければと思いました。全校への調査時間はなかったかもしれませんが、できるだけ、話を聞いて取りまとめていきたいかったです。

○荒川議長 IMO-ZOコミュニティスクールである3校について訪れたかったと思いました。実際に訪れることができたのは、9小だけでした。

○大月副議長 東大和市をはじめ、日本全体で急激に高齢化社会に移る中で、提言のタイトルを決めました。自分が担当した部分は地域活動でした。内容を書いていくと長くなりましたが、最終的にはコンパクトにまとめられ、良かったと思います。過去、提言の作成については少人数で行っていましたが、議長の提案により、現在は、全委員が直接携わっており、これはとても良いことだと思います。

○荒川議長 ありがとうございます。

議題（2）「その他」

○荒川議長 それでは、議題（2）「その他」について、事務局よりお願いします。

○石井主事 資料2をご覧ください。令和4年2月22日火曜日にオンラインにて令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会の第2回理事会が開催されましたので、協議事項となっていた資料を配布させていただきました。協議1-1、1-2、1-3と記載されているものをご覧ください。こちらは、東京都市町村社会教育委員連絡協議会表彰に関するもので、1-1は令和3年度における被表彰者名簿、1-2は表彰規程、1-3は表彰規定施行細則となっております。この名簿にある方は、4月23日土曜日の定期総会にて表彰が行われる予定です。また、本表彰は、慣例により1人に対して1回のみ表彰することとしているため、町田市から推薦している方については、表彰しないこととしています。協議2と記載されているものをご覧ください。こちらは、令和4年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会統一テーマとなっております。協議3と記載されているものをご覧ください。こちらは、令和4年度定期総会議案書（案）となります。定期総会については、議案書（案）に記載されているとおり令和4年4月23日土曜日の午後1時から府中市市民活動センタープラッツにて開催されることとなりますので、今後、出欠の確認を行わせていただきます。以上となります。

○荒川議長 ありがとうございます。リモートの会議に出席させていただきましたが、大学の講義等をする際は、とても分かりやすそうでした。話している方が画面に映り、合わせて資料も映ることで、と

でも分かりやすいと感じましたが、会議などで何か決める際には、書面会議でも良いのかなと思います。資料で、令和3年度の特例会計について話が挙がりました。関東甲信越静社会教育研究大会東京大会を縮小して開催したため、残額がありました。残額については、令和4年度の一般会計に戻すこととしていますが、この予算について、次回の研修大会まで残すことを検討すべきであるとのことでした。理事会については以上です。その他ありますでしょうか。では、資料をいただいておりますので、ご説明をお願いします、最初に文化協会の冊子についてお願いします。

○柳澤委員 前回の定例会では書道連盟の50周年記念誌を配布しましたが、今回は文化協会の50周年記念誌です。3月5日(土)と6日(日)に創立50周年の文化協会の祭典を行いました。まん延防止重点措置期間であり、開催するか迷いましたが、会員の方からは、2年間中止としていたため、実施したいと要望が多かったことから、開催に踏み切りました。いつもは1日開催でしたが、今回は2日間としました。無料とし、入場チケット等はなく、どの程度来場者があるか分かりませんでした。1日目は250人ほど、2日目は350人ほど入場者があり、賑わいました。開催できて良かった等の感想がもらえました。50周年記念誌も本来なら去年でしたが、1年延期し、今年に発行しました。様々な励ましの声をいただき、今後も頑張って続けていこうと思いました。文化協会は、10団体で構成されていましたが、4団体が退会しました。新たに加盟する団体をお誘いし、文化協会を続けていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いします。

○荒川議長 書道連盟の記念誌も全て読ませていただきました。書いてある漢字が読めればもっと味が分かるのにと感じます。

○柳澤委員 今日の市報に体協だよりがあり、杉本さんが東京都から表彰されていました。

○荒川議長 そうでしたか。それについてお願いしても良いですか。

○杉本委員 東京都生涯スポーツ功労者の表彰です。都民体育大会と生涯スポーツ大会の合同開会式で表彰されるものでしたが、コロナの影響で中止となりました。

○荒川議長 おめでとうございます。では、大月副議長お願いします。

○大月副議長 お手元の月報にっこりをご覧ください。自治会で防災訓練を行いました。防災訓練に参加された方に対し、防災冊子を差し上げるとして実施しましたが、結果的には実施していない方にもお渡しさせていただきました。この2年間、コロナの関係で中止していましたが、災害はいつ起こるか分からないことから、今回は実施しました。昨年、防災倉庫をいただいていたので、今回備蓄するものと管理台帳をお披露目しました。前回のお話のとおりカラーコピーがあるので、全てカラー化で配布できるので、案内を出すにもインパクトが強く、月報も高い効果があるかなと思います。

○荒川議長 ありがとうございます。他になにかありましたお願いします。

○大月副議長 提言が最終ということで、あとは印刷に回すだけです。せっかくの提言をなので、活かしていただければなと思います。次回は、第11回4月19日火曜日となりますので、よろしくをお願いします。

○荒川議長 前回は話がありましたが、懇談会を持っていないかという話がありましたがどうでしょうか。

○高田課長 提言がどのように反映されているか等を、教育長と懇談するといった内容でよろしいのでしょうか。まん延防止重点措置が解除されることと合わせて、組織改正もあります。社会教育課の名称が変わりまして、今後は文化とスポーツが分かれ、生涯学習係とスポーツ推進係、郷土博物館となり組織体制が変わることとなりますので、そのことを踏まえた上で調整させていただきます。よろしくをお願いします。また、業務としては、地域振興課で所管している市民会館に関する事務を所管することとなります。文化という意味で市民会館の業務が教育委員会に移管されることとなります。組織改正につきまし

ては、次回の会議でお示しできるよう資料を用意させていただきます。新組織は4月1日付けとなります。先ほどの教育長との懇談会については、少しお時間をいただき、調整させていただければと思います。

○荒川議長 懇談する際には直近10年の提言のタイトルを記載したものをご用意いただければと思います。ただ、反映されているかは分かりかねますが、様々なところで充実はしてきたように思います。ではこれで閉会といたします。ありがとうございました。